

令和4年度 国立市立小・中合同授業研究会

国立市研究主題 主体的・対話的で深い学びを通じた資質・能力の育成
～指導と評価の一体化～

理科部研究主題 見通しをもち主体的に問題解決に取り組む児童・生徒の育成

1 主題設定の理由

「深い学び」を実現させていくためには、児童・生徒が主体的に問題解決をして

- ・生活経験や既習事項をもとにした根拠のある予想をすること
- ・予想をもとに問題を解決するための見通しを観察・実験の前にもつこと

が大切であると考えた。そこで、研究主題を「見通しをもち主体的に問題解決に取り組む児童・生徒の育成」と設定した。

2 研究の重点

- ①小・中学校7年間を見通した効果的な指導を行うため、小・中学校の相互理解を深める。
- ②児童・生徒が見通しをもち、主体的に問題解決に取り組む手立てを考える。
- ③発展的問題解決を行えるような、教材の開発をする。

3 研究の流れ

- | | | |
|-----------|-------|--|
| 4月20日(水) | 全体会 | 市の研究主題について |
| | 第1回部会 | 今後の予定 研究主題の設定 研究計画 |
| 5月25日(水) | 第2回部会 | 6月研究授業指導案検討 |
| 6月22日(火) | 第3回部会 | 研究授業 5年「ふりこ」
講師 国立市教育委員会 教育指導支援課指導主事 小島章宏先生 |
| 7月21日(水) | 第4回部会 | 11月研究授業に向けた教材研究(オンライン) |
| 9月 7日(水) | 第5回部会 | 11月研究授業指導案検討 |
| 10月19日(水) | 第6回部会 | 他部会の研究授業に参加 |
| 11月 9日(水) | 第7回部会 | 研究授業 5年「もののとけ方」
講師 大妻女子大学 家政学部児童学科教授 石井雅幸先生 |
| 1月18日(水) | 第8回部会 | 研究のまとめ |

4 研究授業

○第5学年「ふりこ」

【本実践の提案】課題に対しての仮説の立て方、その仮説の検証方法、さらに実験結果から結論を導き出すなどの力を育成するために、単元のはじめに問題解決の流れを意識させる場面を設定した。さらに、条件制御の順番を「振れ幅→振り子の長さ→重りの重さ」とした。実験に誤差が生じしやすい「振れ幅」を最初に扱うことで、実験を丁寧に行おうとする思いをもたせ、その後の実験についても条件制御を意識して見通しをもった主体的に問題解決に取り組めるようにした。